

科目名		生理学 2							年度	2025
英語科目名		Physiology 2							学期	後期
学科・学年		鍼灸科 1 年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員		岡安維蓉	教員の実務経験		有	実務経験の職種		医学博士、鍼灸師		
【科目の目的】										
鍼灸臨床を行う上で、人体の生命現象の機序・特徴及び基礎となる必要な知識である身体機能を学びます。										
【科目の概要】										
生理学を学ぶ意義を理解する。人体の生命活動を細胞レベルから理解する。細胞の構造・代謝・機能に関わる基本を理解することから始まり、細胞にとって最適な生体内部環境の恒常性について理解する。 続いて呼吸・消化・代謝・体温に関する身体内での機能を理解する。										
【到達目標】										
鍼灸の学習を進める上で必要な機能に関する知識を習得する。医療の基本となる医学用語を理解すると同時にしっかりと記憶できるように身につけることが必要となる。その上で人体の生命活動のシステムを学び、人体に対する理解を深める。細胞レベルから生体の内部環境の恒常性を維持するための様々な特性を理解する。										
【授業の注意点】										
授業日数の3/4以上出席しない者は定期試験を受験することはできない。講義時間に無連絡で20分以上遅刻された場合、受講はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。課題は、本科の規則に従った形式で提出する。特定の指示が有る場合を除いて、手書きでの作成を原則とする。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル 5 優れている	レベル 4 よい	レベル 3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル 1 要努力					
到達目標A呼吸	すべて理解できる。 身につけている。	理解できる。 身につけている。	理解できるが。 部分的に身につけている。	医学用語のみ理解できる	学習意欲欠け、学習内容を理解できない。					
到達目標B消化	すべて理解できる。 身につけている。	理解できる。 身につけている。	理解できるが。 部分的に身につけている。	医学用語のみ理解できる	学習意欲欠け、学習内容を理解できない。					
到達目標C代謝	すべて理解できる。 身につけている。	理解できる。 身につけている。	理解できるが。 部分的に身につけている。	医学用語のみ理解できる	学習意欲欠け、学習内容を理解できない。					
到達目標D体温	すべて理解できる。 身につけている。	理解できる。 身につけている。	理解できるが。 部分的に身につけている。	医学用語のみ理解できる	学習意欲欠け、学習内容を理解できない。					
【教科書】										
東洋療法学校協定指定教科書										
【参考資料】										
【成績の評価方法・評価基準】										
期末テスト：80% 復習小テスト：10% 出欠席状況：10%										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

